

2017年6月30日

第6期（2016年4月1日から2017年3月31日まで）

貸借対照表及び個別注記表

株式会社 阪急B&Cプランニング

貸借対照表

(2017年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	582,277	(負債の部)	497,796
流動資産	195,186	流動負債	496,720
現金及び預金	16,461	買掛金	114,965
売掛金	154,886	短期借入金	229,679
商品及び製品	12,626	未払金	33,415
前払費用	6,625	未払費用	71,003
未収入金	4,585	未払消費税等	22,296
		未払法人税等	1,177
		預り金	1,988
		賞与引当金	16,500
		役員賞与引当金	5,694
固定資産	387,091	固定負債	1,076
有形固定資産	276,535	退職給付引当金	1,076
建物附属設備	149,780		
構築物	118		
機械及び装置	82,727	(純資産の部)	84,480
器具及び備品	43,908	株主資本	84,480
		資本金	10,000
無形固定資産	10,737	利益剰余金	74,480
ソフトウェア	245	利益準備金	2,500
施設利用権	10,492	その他利益剰余金	71,980
		繰越利益剰余金	71,980
投資その他の資産	99,818		
投資有価証券	1,000		
差入保証金	98,818		
合 計	582,277	合 計	582,277

個別注記表

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

通常の販売目的で保有するたな卸資産
評価基準は原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）によっております。

商品	最終仕入原価法
----	---------

3. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産	定額法
--------	-----

無形固定資産	定額法
--------	-----

4. 引当金の計上基準

賞与引当金	従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。
-------	---------------------------------------

役員賞与引当金	役員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。
---------	--------------------------------------

退職給付引当金	従業員の退職給付に備えるため、当社退職金支給規程に基づき、自己都合による期末退職金要支給額を計上しております。
---------	---

5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理	消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜き方式によっております。ただし、控除対象外消費税等は、発生事業年度の費用として処理しております。
-----------	---

6. 会計方針の変更

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、従来、有形固定資産の減価償却方法として、主として定率法を採用してまいりましたが、当期より、定額法に変更しております。

この変更は、保有する有形固定資産の償却方法について、使用状況等を踏まえ改めて見直しを図ったところ、耐用年数の期間内に急激に劣化するものではなく、その効果は安定的に発現すると見込まれるため、定額法を採用した方が実態をより適切に表すと判断したことによるものです。

今回の変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当期純利益が22,708千円増加しております。

当期純損益金額

当期純利益	15,449千円
-------	----------